

5月の政治・経済イベントと マーケットの振り返り

重要イベント① 米国の景気動向

米国では企業・家計の景況感、雇用関連統計が堅調な一方、実際の生産、消費は今一つさえない動きになっています。今後、生産、消費が上向くか、企業・家計の景況感、雇用が鈍化するかのどちらに傾くかで、株式・債券・為替市場が大きく左右される可能性があります。5月2、3日開催のFOMC（米連邦公開市場委員会）での金融政策変更の可能性は低いものの、24日発表の議事録でどのような景気・物価判断が示されるかが注目されます。

重要イベント② フランス大統領選挙決選投票

4月23日の第1回投票では、親EU（欧州連合）の姿勢の独立系中道候補のマクロン氏と、反EU、反移民を主張する極右国民戦線ルペン氏が5月7日の決選投票に臨むことになりました。世論調査などからマクロン氏優位と見られますが、ルペン氏が敗れても得票率が高ければ、フランス国民の反EU感情の強さが示されることとなります。マクロン氏が大統領になった場合の実行力を探る上では、政策が具体性に欠けるとの批判に、選挙戦を通じてマクロン氏がどう応えるかも注目されます。

重要イベント③ 中国の不動産市場と資金供給

中国当局は不動産市場過熱化を懸念して、過剰融資抑制などに乗り出していますが、3月には住宅価格の上昇が続き、企業、家計の資金調達動きも強かったようです。4月も社会資金調達金額の鈍化が見えなければ、中国当局が引き締め姿勢を強める可能性があり、注意が必要です。

	国・地域	予定
1日(月)	米国 	個人所得・個人消費支出（3月）、ISM製造業景況感指数（4月）
2日(火)頃	米国 	自動車販売台数（4月）
3日(水)	米国 	ISM非製造業景況感指数（4月）
3日(水)	米国 	金融政策発表
5日(金)	米国 	雇用統計（4月）
7日(日)	フランス 	大統領選挙（決選投票）
9日(火)	韓国 	大統領選挙
12日(金)	米国 	消費者物価指数、小売売上高（4月）、ミシガン大学消費者信頼感指数（5月）
12日(金)頃	中国 	社会資金調達金額（4月）
16日(火)	米国 	鉱工業生産指数（4月）
18日(木)	日本 	1-3月期GDP（1次速報値）
24日(水)	米国 	5/2、3開催のFOMC議事録発表
26日(金)	米国 	1-3月期GDP（改定値）、耐久財受注・製造業出荷（4月）
30日(火)	米国 	個人所得・個人消費支出（4月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。

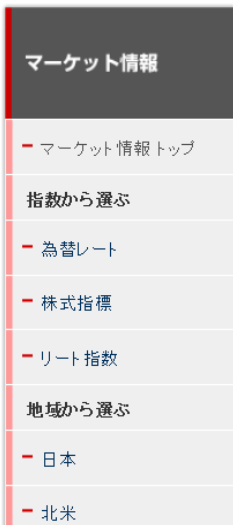
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

○野村アセットマネジメントHP (<http://www.nomura-am.co.jp/>) からは、
 ホーム画面 > マーケット情報 > マーケットコメント
 とクリックしていただくことで、アクセスできます。
 こちらのページからは、過去のマーケットコメントもご覧いただけます。



現在位置：野村アセットマネジメントホーム > マーケット情報 > マーケットコメント



マーケットコメント

| 2017年4月

- 2017年4月26日 インド通信Vol.17 インドの議会制度について (652KB) **NEW**
- 2017年4月24日 仏大統領選、決選投票はマクロン対ルペン (543KB) **NEW**
- 2017年4月24日 通貨レポートVol.14 メキシコペソ (850KB) **NEW**
- 2017年4月19日 IMF、世界経済成長率の上昇を予想 (536KB)
- 2017年4月17日 トルコ国民投票、大統領制移行に賛成 (553KB)
- 2017年4月13日 ブラジルの政策金利引き下げについて (523KB)
- 2017年4月10日 対立回避も不透明感残す米中首脳会談 (627KB)
- 2017年4月10日 米労働需給は引き締まるが賃上げは緩やか (532KB)
- 2017年4月4日 S&Pによる南アフリカの格下げについて (537KB)
- 2017年4月3日 4月の政治・経済イベントとマーケットの振り返り (622KB)